

自分のよさに気づき、できること、できたこと、 楽しさをいっぱい見つける夏休みに

倉敷市立西中学校長 松本 一郎

皆さんは、自分のことが好きですか。自分のことが好きだと思える人は、幸せです。どんどん自分の力を伸ばし、幸せな人生を歩む力を手に入れているひとです。

私は、始業式、入学式で、令和という時代は、一人ひとりのよさを輝かせる時代の始まりだというテーマで、自分自身の、周りの人の「よいところ・できているところ」を見つけようと話をしました。

私は、日々の授業の様子から、そうじの時間から、部活動から、朝のあいさつ運動から、3年生の修学旅行から、ボランティア清掃から、日頃廊下で出会う人から、たくさんの「よいところ、できているところ」を見つけることができました。

西中学校のすべての先生方が、もっともっと皆さんのよいところを見つけていこうと、7月1日からグッドビヘイビアチケットの取組をスタートしています。美術部のみなさんにすばらしい原画をいっぱい描いてもらいました。



どうしてこんなに素敵なデザインが考えられるのだらうと思いました。たぶん、美術部の皆さんは、描くことが好きなんだろうと思っています。それをもとにこのようなチケットを作成しました。すでに、もらった人も多いと思います。どんな気持ちになりましたか。

勉強も、部活動も、人間関係も、うまくいかない時もあります。問題点を反省し、次に生かすことも大切ですが、問題ばかりに注目することは、問題です。

「できていること、できたこと、うまく行った」ことを見つけるたことは、簡単そうに見えて、実は難しい面もあります。それは、自分自身と向き合い、誠実に努力をする必要があるからです。

努力もせず、怠けて、うまくいかないことを他人のせいにする人は、残念ながら、自分のよさに気付くことができませんし、人のよさを見つけることも苦手のようです。

自分のよさに気が付いている皆さんは、自分を大切にできる人です。自分を大切にできる人は、事故や危険から賢く身を守ることができます。

みなさん一人ひとりが、たくさんの自分のよさに気付き、できること、できたこと、楽しさをいっぱい見つける夏休みとなることを祈っています。

それでは、みんなそろって、「笑顔」で元気に2学期を迎えましょう。